反對同盟會の正體を見よ

諸君の自主的組織とすりかへるために御用幹部がデッチ上げた ニセ物だ！

我等は四派の對策委員會のやうにウソやデタラメは云はぬ。我々は最初から、**先づ自主的な闘爭主體を作れ、それによつて自主的に闘ひ拔けこれが唯一無二の、眞の反對闘爭だ！**と、口をすつぱくして高唱して來た。四派は我等の主張に贊成する從業員をゴマ化すために反對同盟會をデッチ上げた。

だが正體を見ろ！

ニセ物だ！

反對同盟會はなぜできたか、上京が無効に終り、地元で四派ではダメだといふ聲が高まり、從業員が自主的に動きだしたので、これを抑へて、どこまでも御用幹部の手で諸君を引きづり廻すために作つたものだ　**ニセ物だ。諸君が本物を作つては困るからニセ物を作つて諸君に押賣しやうとするのだ**　彼等は「民主的總意で確立せられた」といふが、各工場代表は一般投票、無記名投票で選んだのではない。御用幹部が勝手に選んだのだ、その代表者の集つた大谷會館の大會で選んだ役員は投票によらず、

御用幹部のお手盛ではないか。何が民主的だ。

彼等は『從業員の鐵腕で作り上げた』『從業員自身』の同盟會といつて、此のニセ物を諸君に押賣してゐるが、從業員諸君のなかに、『自分で作つた』『俺達の自主的團體だ』『これだつたら最後まで力強く戰へる』と思つてゐる人が一人でも居るか。三万人中一人もゐない筈だ。第一作りあげた御用幹部が、本物だとは思つてゐないのだ。ニセ物だと知りきつて押賣してゐるのだ。

『名は體を現はす』のだ。同盟會には首がない。足がない。首とは『絶對』の二字、足とは『闘爭』の二字だ。この二字を上下につけて**絶對反對闘爭同盟**といつて見給へ。生々として、決然たる闘爭體が眼の前に出て來るではないか。

それを知らぬ彼等ではない。ワザと首を切つて絶對反對を叫ばせず、足を切つて闘爭させないためだ。首をもぎ、足を切去り、諸君に手カセをはめたのが同盟會だ。

反對闘爭を闘ひぬく行動團體でない證據は**責任を負ふて行動する主體執行部が此の同盟會にはないことだ**。見給へ、中央統制部會、工場統制委員長會議、中央連絡部といふものはあるが、責任ある實行部、行動主體たる執行部はないではないか。統制する役員はあるが、行動する役員はない。連絡する役員は居るが執行する役員はゐない。

世界中を鐵のワラジで探して歩いても、統制部と連絡部だけあつて執行部のない同盟はない。なぜこんな珍妙なものを作つたか。作る人の頭がこんなものしか作れぬやうにできてゐるからである。なぜそんな頭を持つてゐるか。役付職工や御用幹部であるからである。此の珍無類の反對同盟は彼等の本性の暴露だ。役付や幹部は諸君の支配者だ。長官─部長─課長─主任─工長─組長─伍長までが支配階級だ。それから下、即ち職工職夫が被支配階級だ。彼等は何時でも諸君を支配し統制してゐる。だから彼等の頭は統制しかないのだ。諸君の自主的行動を抑へつけることしか考へないのだ。統制即ち抑制だ。

同盟會は諸君の自主的行動を抑制するための御用幹部だけの同盟會だ。

現に抑へてゐるではないか。諸君の自主的集會を妨げ、彼等の行動を少しでも批評する者は役付をカサに着て叱りつけ、諸君の自主的集會で委員を選べばその委員を強迫してやめさせるではないか。伍長組長は主任や課長の御機嫌に入らぬ者が一人でも自分の工場から出てはならぬと、血マナコになつて諸君の自主的組織運動を抑へ廻つてゐるではないか。

同盟會の仕事は、日當をさつて職工職夫の自主的活動を抑へることだ。

世界は廣いが、一體どこの國に勞働者が資本家階級への反對運動をするための會の役員が、日當を取つてゐる例があるか。彼等は闘爭資金といふ美名のもとに、諸君から貳拾錢五拾錢とまきあげて、これを日當として取つてゐるのだ上京委員も十日間の日給を旅費にこめて取つてゐるぞ。

同盟會を根本的に否認しろ！これは諸君の害物だ。毒虫だ。仇敵だ。

ではどうして否認するか。

マネ事のウソの委員選擧に參加しないこと。

同盟會委員の命令は一つも實行しないこと。

同盟會費を一錢でも出さぬこと一人が出せば他の人も出さねばならなくなるから一人も出すな「工場内にある組合の金や個人の金を立替へてゐるから出して貰はぬと困る」といふのは、それが出させる手。ウソだからその手にのるな、『たつた貳拾錢だ』『まあ五拾錢くらゐだから！』と思つて出してはならぬ。金を出せば緣がつながるのだ。金のキレ目がエンの切目だ。

もう一錢も絶對に出すな。「同盟會を認めぬ」と拒絶しろ。それが云へぬなら『金がいるならムダに使つた東京行旅費を取戻して使へ」と云へ。それも云へねば『東京行の精算書を見た上で出すか出さぬか考へてみやう」と云へ。

出すな。出したらこころが、それは彼等の日當になり、東京見物で作つて來た借金の穴埋になるのだ。

同盟會を絶對に否認しろ！

だが、否認だけではいけない。それでは消極的だ。**積極的に、勇敢に自主的の組織を作らねば、同盟會は半殺しである。**では、どうして、それを作るか別項をよく讀んでくれ。讀んで實行してくれ。

自主的組織はコウして作れ

これでなくては絶對にダメだ　こうして作ればキツト出來る

四派の奴等はダメなことがハッキリとわかつた、自主的組織でないといけない、といふ聲は工場の隅々にみち〳〵て居る。

だが、どうすれば出來るのか、わからぬ人がある。だから我々は正直に、コツに、こうして作れと云ふ。秘密でも何でもない。當前のことを、至極オントウな態度で、正々堂々とやれといふのだ。

一、**各工場毎に職工職夫大會を食堂か現場の廣場で開け！**「自主的組織でないとダメだ」と確信した者は、現場の信頼する同志と話し合つて、シッカリと腕を組んで、勇敢に立ち上つて大會を開くことを宣言しろ。同志がゐないなら一人でやれ。

一、**議長を一般、無記名投票で選べ！**

一、**選ばれた議長は否應なしに議長席に就いて**自主的大會を宣言し、無記名の全員投票で工場代表委員を選擧し（委員數は各工場の實状に從ひ、二十人に一人位の割合で選べ）それがすんだら議長は委員が集合して其工場の自主的反對闘爭同盟の組織を**具体的に定めて翌日の從業員大會に報告し承諾を求めることを命令して、一應大會を閉會する**

一、**委員は、直ちに集合して全委員で執行部を作り**、執行部の仕事を總務、組織、連絡、監視、會計、の五つに分けて委員を適當に振當て、總務部長を執行部の責任者とする。組織係は工場内の全從業員を二三十人一と組の班に分け、組織委員一人づつが班の責任者となつて堅める。連絡係は他の工場との連絡をとる。監視係は裏切者を監視し、上役の防害をとりのける役目に當り、會計は金錢の收支をつかさどる。

一、委員に選ばれた者は絶對に辭退してはならぬその代り委員に對して上役が變なことを云つたり、カリにも壓迫がましいことをするならば、全從業員は結束して委員を守り通せ！その方法は諸君が知つてゐる筈だ。

一、これで一工場の自主的組織は立派に出來上る。一つの工場で出來たら、次の工場でもきつとやる。やらないなら委員が行つて勸誘すべきだ。**次の工場に出來たら、連絡をとつて、聯合体を造る。**こうして全工場に出來たら、各工場の委員全体會議を開いて、全從業員の自主的反對闘爭同盟を作ることを決議し、前の方法で執行部を作る。こうなれば組織が復雜になるがこゝまで來れば、やす〳〵と出來上る。

執行部は全從業員大會を開いて必要な決議をし、內に結束を堅めると共に、外に向つて強硬な絶對反對の意思をあらためて表示し、目的貫徹のための闘爭を宣言する此の壓力で役付を屈服させ、主任、課長、部長等にも辭表を取纏めさせ、全製鐵所一丸となつて長官に絶對反對の全從業員の意思に從ふべきことを要求しろ。それから先は、いくらでも有効に働く方法は出て來る。

できないではない。やれると信じて立ち上れば、キツトやれるのだ。

若しこれだけいつても、まだ腑に落ちぬなら、我々のところに來てくれ。黨の事務所にでもいゝ。また黨員中諸君の信頼する個人の家にでもいゝ。遠慮なく來給へ。我々は諸君と懇々相談する。來給へ。來られねば手紙でもよい。すぐ返事を出す。

我々は云ふことは生命にかけて責任を持つ。デマでなく、空宣傳でない證據は、事實によつて行動によつて、いつでも立派に證明して見せる。

たゞ我々は世話燒業者ではない、勞働者の仕事を請負つてしてやる勞働ブローカーではない。諸君の問題は諸君が主体で解決しなければならぬ。我々は諸君の協力者だ諸君の小使だ。諸君のために全力を盡す。

云ふたことには、あくまで責任を持つ。諸君が機會さへ作れば、何時でも此の身体を投出す。

內外の握手が必要だ。諸君は先方の手の出て來るのをノンベンダラリと持つてゐないで、內から手を出してみたらどうだ。すぐ握手できるのだ。

重ねて云ふ。我々は諸君を煽動しない。空宣傳はしない。たゞ諸君の決意を求めてゐるのだ。諸君がイヤがるものを無理におだて上げやうといふのではない。

此の反對運動丈けは、諸君が、諸君自身の手で、堂々とやるべきだと信ずるからこう云ふてゐるのだ。

平常、八幡の勞働階級のために勞働者と共に生死を誓つてゐる身として、此の約束を實行する機會を與へて貰ひたいのだ。

天に向つて唾するな

ヨタもい、加減にしろ！

四派─反對對策委員會諸君の、『一切のデマを蹴散らして最後的決戰の部署を守れ』と題する威勢のよい檄文には、文句なしに最高の敬意を表する。贊成だ。だが、それは單なる言葉だ。實際はどうだ。第一、諸君は三萬從業員の鋼鐵の如き結束だといふが諸君の結束は、三萬從業員の自主的結束を抑へつけるための少數の役付職工、御用組合のグウタラ幹部でデッチ上げた豆腐のやうな結束ではないか。製鐵所長官の一聲でクラ〳〵とくづれるやうなシロ物ではないか。過去の事實が證明して居る。諸君の行動は隼どころか豚の如く鈍重ではなかつたか。

大衆的行動！それが一番諸君のキライなことではないか。第一大衆的組織も作らない內に、少數が上京して、大衆的な法案阻止の行動でなくて羊のやうに柔和な陳情をした諸君だ。大衆的は多數のことではない。今地元に歸つて造つた組織、それは大衆性を持つ方法によらぬ、少數者の非大衆的行動によつて、でつち上げたものではないか。

諸君は『市會に押寄せろ』といふて大衆動員をしたが、集つた大衆に大衆的行動をとらせるみちを知らず、七名の議員が頭を下げて、大衆的行動をやめ大衆の壓力を市會に加へることを中止してくれと哀願したではないか。そんなことで大衆的行動をリードし得るか

「死の最後の瞬間まで戰ひ拔く」と、言葉は誠に勇ましい。だが、『死を賭して戰ふ』これが一番諸君のキライなことではないか。諸君は過去十年、眞の死を決して何時、誰と戰つたか。言葉ではなくて、實例をあげてくれ。

『上京委員團の死物狂ひの反對闘爭』といふが委員の誰が死物狂ひの闘爭をやつたのだ。死物狂ひどころか、ヒモジイ目にさへあつた者が一人でもゐるか。二食付の紳士向旅館に泊り五拾錢の辨當を食ひ、自動車に乘つて一日二ケ所を訪問し、伊藤君の反對陳情演説を謹聽し、三等特急で往復して、何が死物狂ひだ。委員の中に、一人でもタンカに乘せられて歸つた者がゐるか。一人でも出發の時の壯語どほり、『東京の土になつた』者がゐるか。

諸君のいふとほり、『デマ一本槍では』だめだ。『空宣傳や口先きだけの革命口調の演説では斷じて合同案は粉碎できぬ』『威勢のよい演説のタンカや革命調子の空決議では、血迷つたとは云へ、中島商工大臣斷じてピクともしない』『口先だけの空宣傳では戰爭は出來ない』『逆宣傳に迷ふな』一々御尤も、我々は衷心から共鳴し、無條件に諸君の言葉を承認する

だが、諸君は諸君が口を極めて排撃してゐる者が諸君自身であることを知らねばならぬ。『決死的覺悟で上京する』『決死的活動をした。』『若し我々の云ふことを聞かねば一大不祥事が起る。』『死の瞬間まで戰ふ』『決戰の日は目前に迫つた』『最後的決戰の部署につけ！』『反對運動は今や最後の段階に到達せんとしてゐる』これは諸君の口から出た言葉だぞ。これほど『威勢の良いタンカ』があるか。これほど革命口調の言葉があるか。決死、決戰、死、最後の段階、これは最高形容詞だ愼重に事を運び、ほんとうに死を賭して戰ふ者はこんな輕卒なことは云へぬ筈だ。

（以下は第九報で讀んでくれ）

社會大衆黨

（大衆黨第八報）

財團法人 協調會福岡出張所